

教育研究業績書

令和5年5月1日

氏名 藤林 園子 印

教育上の能力に関する事項

| 事項 | 年月 | 概要 |
|-----------------------|-------|---|
| 1 教育方法の実践例 | 平成6年～ | <p>【講義】授業において最も重視したのは、理解力に差のある学生について、どのレベルの学生に合わせて講義を進めていくかという点である。理解力の高い学生が飽きないように、継続して興味を持ち続けられるように、また、理解力の乏しい学生にも興味を持って授業に取り組めるように配慮した。そのために、規定の教科書だけでなく、毎回講義プリントを作成し、わかりやすく講義する事を努めた。</p> <p>【実技実習】実技において最も重視した点は、身体を動かす事の得意な学生も、反対に不得手な学生も、すべての学生が体育実技、実習に興味をもち、積極的に授業に参加できるかという点である。そして、身体を動かす事の喜び、楽しみを知り、心身共に健全な毎日を過ごすために自分自身でどうすべきか気づきを与えられるよう工夫した。</p> |
| 2 作成した教科書・教材 | | |
| 3 教育上の能力に関する大学等の評価 | | |
| 4 実務の経験を有する者についての特記事項 | | 高等学校1年生を対象とした大学講義体験授業（スポーツ心理学）の講師を務めた |
| 5 その他 | | |

職務上の実績に関する事項

| 事項 | 年月 | 概要 |
|-----------------------|----|----|
| 1 資格、免許 | | |
| 2 学校現場等での実務経験 | | |
| 3 実務の経験を有する者についての特記事項 | | |
| 4 その他 | | |

様式第4号 (教員個人に関する書類)

| 担当授業科目に関する研究業績等 | | | | | | |
|-----------------|--|----------|---------|---|-------------------|------|
| 担当授業科目 | 著書、学術論文等の名称 | 単著 共著 | 発行年月 | 出版社又は発行雑誌等の名称 | 執筆ページ数 (総ページ数) | 概要 |
| 健康スポーツ実習 | 1. タグラグビーとは | 共 | | 大阪体育学研究 | | 短報 |
| スポーツ実習 | | | | | | |
| スポーツ理論 | | 単 | 平成4年10月 | 日本体育学会 | | 口頭発表 |
| 健康・スポーツ心理学概論 | 1. 「負荷刺激呈示時刻の予測が肘関節角度保持に与える影響」 | 共 | 平成5年2月 | International Union of Physiologic al Sciences Congress | | |
| | 2. 「Effect of Timing-related Preparatory Set Upon EMG and Mechanical Responses Induced by Quick Muscle Stretch Stimulus」 | 共 | 平成13年9月 | 日本体育学会 | | |
| メンタルトレーニング | | 共 | 令和5年 | International Journal of Health Promotion and Education Published Online. | | |
| コーチング心理学 | | | | | | |

様式第4号 (教員個人に関する書類)

| | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|
| | 3. 「大学生のエイズ教育に関する検討」 | | | | | |
| | 4. Depression and fatigue among first-time mothers in Japan. | | | | | |